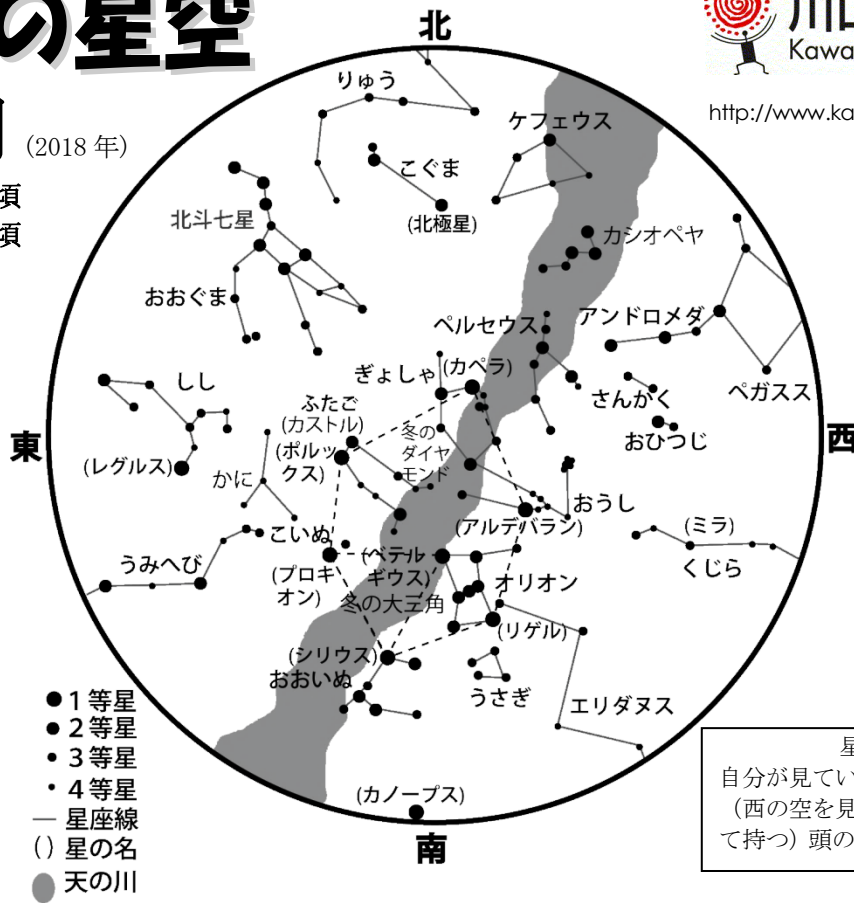


# 今月の星空

2月 (2018年)

上旬 21 時頃  
下旬 20 時頃



- 月 齢 ① 下弦 8 日、● 新月 16 日、② 上弦 23 日
- 惑星情報 金星 夕方 西 (みずがめ座 -4 等級) (月末)  
火星 明け方 南 (さそり座 → へびつかい座 1 等級)  
木星 明け方 南 (てんびん座 -2 等級)  
土星 明け方 南東 (いて座 0 等級)

## ☆ 「冬の大三角」と星までの距離

オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンを結ぶ、冬の大三角が南中し、見ごろをむかえています。この3つの1等星は、地球からの距離が異なります。シリウスは8.6光年(※)、プロキオンは11光年と地球から比較的近くにあるのに対し、ベテルギウスは500光年も離れたところにあります。星の本当の明るさが同じであっても、遠くにある星ほど暗く見えます。ベテルギウスの本当の明るさは太陽の1万倍と非常に明るいいため、離れたところにあってもシリウスやプロキオンとほぼ同じ明るさに見えます。

ベテルギウスは太陽と比べて質量が20倍、直径が1,000倍もある年老いた星で、今から100万年以内に超新星爆発を起こし、一生を終えると考えられています。この爆発が起これば、満月ほどの明るさになり、昼間でも見られると予想されています。

※「1光年」は、光が1年間に進む距離で、約9兆5000億km。

## ☆ ふたご座のカストルとポルックス

冬の大三角から、空高くに目を向けるとほぼ同じ明るさの星が2つ並んでいます。これらは、ふたご座の星で、暗い方が兄のカストル、明るい方が弟のポルックスです。日本では二つ星(ふたつぼし)と呼ばれていました。

カストルとポルックスは、ギリシャ神話の大神ゼウスの子どもたちです。2人が大型船アルゴ号に乗り、コルキスへ黄金の羊(おひつじ座)の毛皮を取りに行った神話が残されています。この大型船アルゴ号は、1922年までおおいぬ座の南側に星座(アルゴ座)として存在していました。